

第116回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2021年12月1日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 15名

3 会議内容

<新規提案>

（1）未来をまもる おむつくらぶ

【概要】

布おむつの良さを知ってもらったり、初めての一步をサポートするような企画を開催したい。

対象はおむつ卒業前の赤ちゃんとその親。

図書館なので、年齢が上の方（子育てを終えられた方）にも参加してもらい、思い出や良さなどを語ってもらえたら嬉しい。

使っていない、もしくは使わなくなった布おむつやカバーがあれば、誰かの為に寄せてほしい。

【意見】

・イベントの進行にあたって、誰か中心になって話す人がいるのか。

→いない。参加者同士で自由に話す座談会のような形式になればと思っている。

・子育てを終えた方で、自分の経験を話したい人は多いと思う。こういった話は家族じゃない方がざっくばらんに話せるし、聞きやすいのではないかな。

・「布おむつは大変そう」というイメージを払拭してもらえるような話につなげるのが大切。

・せっかくことば蔵で開催するなら、本に絡めてほしい。

→自分自身も、図書館で借りた本で布おむつの事を学んだため、ぜひそうしたいと考えている。

・眠っている布おむつを募集するなら、ことば蔵で2月に開催している「もったいない月間」に合わせてはどうか。

・紙には紙の、布には布の良さがあると思う。お互いの良さを尊重大切にしてほしい。

→どちらが良いという話をする訳ではなく、1枚でも布おむつを使うきっかけになればと考えている。

・布おむつと紙おむつで費用がどう違うかなど、コスト面について話すのはどうか。

(2) 家族でイキイキ！豊かな心を育もう～ファミリーワークショップ～

【概要】

5つのブースを巡り、子どもと一緒に体を動かしたり、工作などを行うイベントを開催したい。対象は親子や家族など。ふれあいを通して、感性やコミュニケーション力を育ててほしい。事前申し込み制を考えているが、当日参加したい人にも参加してほしい。工作には材料費が必要になる。

【意見】

- ・5つのブースに分かれるならば、スタッフはどれぐらい必要なのか。
→各ブースに2人～3人を考えている。
- ・コロナ対策のため、フロアの定員は30人まで。スタッフが増えれば、参加者できる親子が減るため、工夫が必要。
- ・絶対に5つブースが必要なのか。3つや4つにしてはどうか。
- ・イベントの中で、参加者同士で交流する場面はあるか。
→コロナ禍でもあり、基本的には同一グループ（家族内）で交流するのみを考えている。
- ・定員を設ける場合は、ブースの中が混みすぎたり、反対に空きすぎないように工夫が必要。
- ・なるべく多くの人に参加してほしいのであれば、2部制、3部制に分ければよいのではないか。

<イベント実施報告>

(1) いたみ文芸ことそうし

- ・書いてきた文章を持ち寄り、披露しあうイベント。参加者は3名だった。
- ・活動をもっと知ってもらい、新しい人に来てもらうための宣伝方法を考えている。
- ・次回は2022年1月8日（土）13時～

(2) カエボン部

- ・おすすめ本の交換会。11月は「～～の秋」にちなんだ本をテーマに持ち寄って実施した。
- ・参加者は5名、テーマが広がったので、秋を感じるさまざまな本が集まった。
- ・次回テーマは「おすすめの一気読み本」。12月15日（水）18時30分～

(3) 漫画を語ろう！

- ・テーマに沿った漫画を持ち寄って、その魅力を語り合うイベント。
- ・今回のテーマは「役に立った漫画」。茨城県からオンラインで参加してくれた方がいた。
- ・来年どのようなテーマにするかの話し合いも行い、スケジュールを決定した。
- ・次回は12月22日（水）18時30分～、テーマは「少女漫画」。

4 次回の運営会議 **2022年1月5日（水）18：30～** ことば蔵1階 交流フロア